

良好な人間関係を築くには

開倫塾

塾長 林 明夫

おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただきありがとうございます。先週の土曜日 10 日に、京都の学習塾「京進」の宇治市にある校舎で、小学 6 年生の少女が学習塾のアルバイトの先生(講師)に刺されて殺されてしまうという、前代未聞の事件が起きました。なぜこのような事件が起こったのかということ、学習塾を経営する者として、私は深刻に受け止めております。「京進」という学習塾は、私もよく知っています。2 年くらい前に講演を依頼されて、250 名ぐらいの講師の方々に前に 3 時間ほどお話をしたことがあります。どのようにしたら素晴らしい学習塾ができるかということに一所懸命取り組んでいた塾にもかかわらず、このような事件が起こったことを、同じく学習塾を経営する者として、私も非常に深刻に受け止めております。

同じようなことが、私共の塾・栃木県内の塾・全国の塾で起こらないようにすることが被害者に対する最低限の義務だと思ひまして、開倫塾では翌週の火曜日に先生方の研修会を行いました。約 100 人の専任の先生を全員呼びして、このようなことが起こらないようにするにはどうしたらよいかを全員で考えることにしたのです。開倫塾にも時間講師やパートの方がいますので、その方々には別の形で集まって頂いて、この問題について考えていきたいと思っています。とにかく他人事ではないということ、肝に銘じ、心を一つにして、同じような事が起こらないようにするにはこれからどうすればよいかという事を考えたいと思ひます。

その一つは、時間講師の採用についてです。採用に際しては、何回も試験を行ったりしていましたが、実際のところ各校舎の校長先生やブロック長の先生に任せていたこともあります。そこでこれからはもう少しやり方を変えて、性格テストや検査を取り入れたり、また先生方の精神面のマネジメントについてもどのようにしたらよいか、今までも随分考えてきましたが、これからは今まで以上に考えていきたいと思ひます。

小学 6 年生の子供と、大学生とはいえ先生という立場にあるものとの間で人間関係がうまく築けなくなってしまうということですので、どうしたら生徒との人間関係を良好なものにできるのかも含めて、基本に戻って考え直したいと思ひます。

栃木県では今市市で悲惨な事件が起こり、その後に学習塾という子供達が勉強する場でこのような事件が起こってしまって申し訳ないなあという気持ちで一杯であります。今回の事件を教訓にして、

いろいろなことを考えていきたいと思いますので、ご意見のある方はお寄せ下さい。反省の1つの材料にさせていただければありがたいです。それにしても、アルバイトの先生がそこまでせっぱ詰まってしまったのには、塾の方にも先生を追い込んだ責任があると思います。そして本人も気分転換がうまくできずに、子供達との円滑な関係がうまく築けなかったのでしょうか。何が事件の本当の原因か、新聞報道やマスコミ報道等で真相が分かってきつつあります。被害者の方の死を無にしない形で取り組みたいと思いますので、どうかこの事についてご意見のある方は林までお寄せ下さい。郵便番号は326-8505、これは開倫塾の専用番号ですので、これに林明夫と明記すれば届きます。私の e-mail は akio@kairin.co.jp、電話番号は 0120-066555 でフリーダイヤルです。ホームページは、「林明夫」で検索しても出ますが、www.kairin.co.jp です。再度のお願いになりますが、今回の事件について厳しいご批判・ご意見がございましたら私までお寄せ下さい。それらについて一所懸命考えさせていただきますので、よろしく願いいたします。

先週の日曜日に、「Always 3丁目の夕陽」という映画を観てきました。映画の中にあったようなほのぼのとした雰囲気のもとで生活することも大事ななあと思いました。このような映画を観たりしていれば、塾の先生もあのような事件を起こさなかったのかと思いました。先生方のストレスをどのように解消するか、どのようにして生徒との人間関係をうまく築くのか、これらの問題について、これからも一所懸命取り組みたいと思いますので、どうか宜しく願いいたします。